

※公1～3の概要について、最新の申請内容を下記に記載いたしますので、ご一読ください。

【公1】

（趣旨）

地域社会の健全な発展を目的に、地域の実情にあった課題をテーマとして取り上げた市民向け講座や各種セミナー等による多種多様なイベントを開催することにより、明るく豊かな社会づくりの担い手は市民一人ひとりであるという市民意識の変革を促し、また、来場者が講義やパネルディスカッション等を通じて得た知識を持ち帰り、それぞれの地域に住む住民に伝え実践することで、よりよい地域社会を形成するための必要な人材を育成していく。

（内容）

事業の内容に相応しい専門家を講師として招き、市民に向けた講演及びセミナーや、複数の専門家によるパネルディスカッション等のイベントを定例的に開催する。

内容は、名古屋の地域コミュニティの復興、創造、活性化を目指したもので、取り上げるテーマは例年固定ではなく、毎年その時々地域の実情を反映させたテーマを選択することにより、本事業を形骸化させることのないよう企画していく。

主に、講座・セミナーなどの形式により、将来地域社会のリーダーとして率先して行動する人材を育成する事業や、自ら積極的にまちづくりに参加する意識を高めることを目的とした事業、国籍を超えた交流を図ることを目的とした事業、市長選等立候補予定者による公開討論会など市政・県政・国政選挙に関する関心を高める事業、地域社会との共生型企業経営等により経済の促進及び活性化を目指す事業などを行う。

その他、展示や体験活動等による、実際にまちづくりを行っている団体の活動紹介や、市民がまちづくりに参画する事業、シェアリングの実践による環境保護事業の実施や青少年に対するリーダー育成事業などを、必要に応じ行う。

以上のような事業を実施することにより、よりよい地域社会の発展を目指していく。

（対象者）

対象者は一般市民とする。ただし、参加者は名古屋市内に限らず、講義の内容に興味のある方であれば誰でも参加可能とし、市内外から広く募集をする。

（事業実施のための財源）

この事業実施に係る費用（会場借上費用・謝金等）は全額当法人が負担し、参加者の費用負担は無い。

財源は青年会議所の会費収入だが、必要経費を賄うに至らず、赤字部分にはついては現在ある資産（普通預金及び郵便貯金等）の一部を取り崩し支弁するが、事業の性質に応じ、一般企業や個人などから協賛金または寄付金を募る。

なお、今後は青年会議所全体の収支を見直し、その内容に見合った会費収入の設定金額等について検討をする。

【公2】

(趣旨)

児童青少年の健全な育成及び地域社会の発展を目的に、国技である相撲やスポーツなどの活動体験をとおして礼節や常識を学び、また、多くの人々との交流を持つことで地域社会の一員であることを自覚し、最近の人間関係の希薄化によるコミュニケーション不足により失われがちな社会性を養う。

また、数あるスポーツの中でも特に、我が国の伝統ある国技である相撲を体験することは、相撲を通じて礼節を学ぶことにより親や先生などの周りの人々に感謝する気持ちを醸成するだけでなく、多くの仲間と共に同じ目標を持って努力することで最後まで諦めない精神力や肉体を鍛え、また、勝敗に拘らず厳しい勝負の中で互いの健闘を称え合うことにより相手を思いやる心を育むため、本事業を通じ児童青少年の健全な育成環境作りを推進する。

(内容)

【わんぱく相撲】

名古屋市内の小学生を対象に行う個人戦による相撲大会。

大会当日は、1会場または複数会場で、個人戦または団体戦もしくはその双方を行う。

予選はブロックごとにリーグ戦を行い、予選を勝ち抜いた力士は決勝トーナメントに進出し、優勝者を決める。

開催場所は、参加者の規模によりナゴヤドームや愛知県体育館、小学校の体育館などを使用する。

また、本事業の趣旨に賛同し運営に協力してもらえる一般の方を募集し、試合当日審判等として参加してもらう。

審判として行うための必要な知識は、愛知県相撲連盟講師による審判講習会を通じて習得する。

(事業実施のための財源)

この事業実施に係る費用（会場設営費等）は全額当法人が負担し、参加者の費用負担は無い。

財源は青年会議所の会費収入だが、必要経費を賄うに至らず、赤字部分にはついては現在ある資産（普通預金及び郵便貯金等）の一部を取り崩し支弁する。

なお、今後は青年会議所全体の収支を見直し、その内容に見合った会費収入の設定金額等について検討をする。

(対象者等)

名古屋市内の小学校に通う1年生から6年生の男女1500名ほどを対象に実施する。

【公3】

(趣旨)

当法人が行う周年記念事業で平成22年度に開催を予定している60周年記念事業や、平成23年度に開催を予定している全国会員大会にあわせて、市民向け講座及び各種セミナーや、地元名古屋を舞台とした映画の制作・放映などの各種イベント等を開催する事業。

地域社会の健全な発展を目的に、地域の実情にあった課題をテーマとして取り上げた市民向け講座や各種セミナーを開催する他、平成22年度に開催予定の60周年記念事業では、祭りや、名古屋というまちの魅力を発信する映画を制作し放映するなど、多種多様なイベントを企画する事により、明るく豊かな社会づくりの担い手は市民一人ひとりであるという市民意識の変革を促し、また、来場者が講義やパネルディスカッション等を通じて得た知識を持ち帰り、それぞれの地域に住む市民に伝え実践することで、よりよい地域社会を形成するための必要な人材を育成していく。

(内容)

当法人が平成22年度に開催を予定している60周年記念事業や、平成23年度に開催を予定している全国会員大会にあわせ、その付帯事業として一般市民向けのイベント等を企画し開催する。

その内容は、主に講座・セミナーなどの形式により、国外の要人や国際的な著名人を招聘し、一般市民向けの講座や各種セミナー等を開催する。

また、今回、地域振興を目的とした事業として「祭り」を行なう。これは、様々な体験活動を市民が気軽に参加しやすい「祭り」という形式で開催することで、体験を通じて普及・啓発活動を行い、また、人と人との出会いを創出することにより新たな絆を生み出し地域の繋がりを広げ、思いやりを持った市民で溢れる名古屋のまちを構築していく。

また、名古屋という都市の素晴らしさを十分に活かした市民参加型のまちづくり事業や青少年育成事業、環境保護の推進及び啓発を目指す事業、都市としての多様化を大切にすることを目的とした事業などを行う。

なお、「祭り」を含めたこれらの事業のうち成果のあった事業の完成度をさらに上げ、規模を大きくして全国会員大会の付帯事業として開催することによって、より多くの市民に運動を発信していく。

その他にも、60周年記念事業として、地元である名古屋というまちの魅力を発信する映画を、同じく60周年記念として名古屋のまちへの貢献という理念をもとに番組を企画中の民

間企業と共同制作し、テレビにより放映することで、より多くの市民へ効果的に名古屋に対する愛郷心を醸成していく。なお、映画制作費は当法人と民間企業が負担するものとする。(当法人は2000万円を負担する予定)

以上のような多彩なイベント等を企画し実施する事により、よりよい地域社会の発展を目指していく。

(対象者)

講座やセミナーなど各種イベントの対象者は一般市民とする。

ただし、参加者は名古屋市内に限らず、講義の内容に興味のある方であれば誰でも参加可能とし、市内外から広く募集をする。

また、映画放映の対象者は一般市民とする。ただし、テレビ番組として広く放映するため、放映地域に住む方であれば誰でも視聴可能である。

(事業実施のための財源)

この事業実施に係る費用(会場借上費用・謝金・テレビ放映にかかる費用等)は当法人が負担し、参加者の費用負担は無い。

財源は特定費用準備資金である「記念事業等運営資金」から支出するが、必要経費を賄うに至らず、赤字部分にはついては会費収入や現在ある資産(普通預金及び郵便貯金等)の一部を取り崩し支弁するが、事業の性質に応じ、一般企業や個人などから協賛金または寄付金を募る。